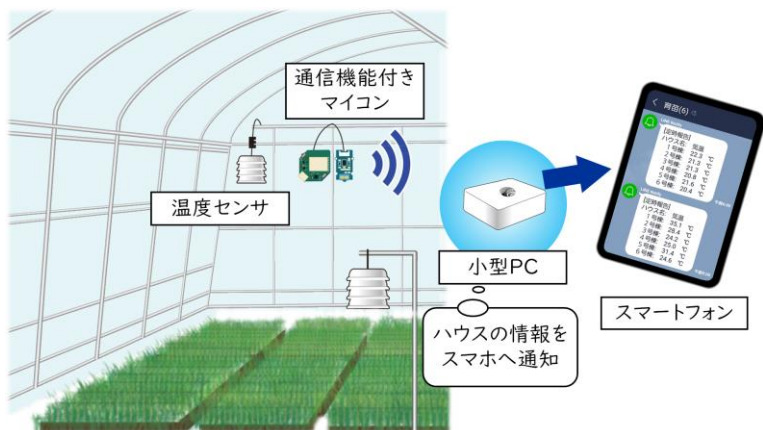


## 2万円で自作！IoT監視システム —自宅からスマホでハウスの見回り—

- ハウスの情報をスマートフォンで確認できる遠隔監視システム「通い農業支援システム」の製作マニュアルを公開
- 材料費2万円、製作日数3日で自作可能、維持費(通信費)は約1,000円/月
- ハウス内の温度、湿度、土壌水分の他、最高温度、最低温度や平均温度といった管理作業に必要な情報、グラフによる履歴の確認も可能



ハウス内にマイコン(1,300円/台)とセンサ(1,000円/台)を設置し、小型PC(6,000円/台)を生産者の自宅や事務所に設置することでビニールハウスの温度等の情報がスマホに自動で通知される。通信は市販のWifiルーターを利用し、通信費は1,000円/月程度。

マニュアル通りに作業すると、組立に半日、設定含め約3日で製作可能。

決まった時間に  
今のハウスの情報が  
自動でスマホに届く



加えて、  
1日の最高・最低  
温度や時間ごとの  
変化のグラフなど  
、利用しやすい形  
で情報が得られる



### 導入により期待される効果

生産者がハウスの管理のために足を運ぶ頻度が減り、見回り時間を削減できる。安価に製作できるため、水稻の育苗など特定の季節だけのハウス利用の場合でも導入しやすく、ハウスの増棟にも安価に対応可能。